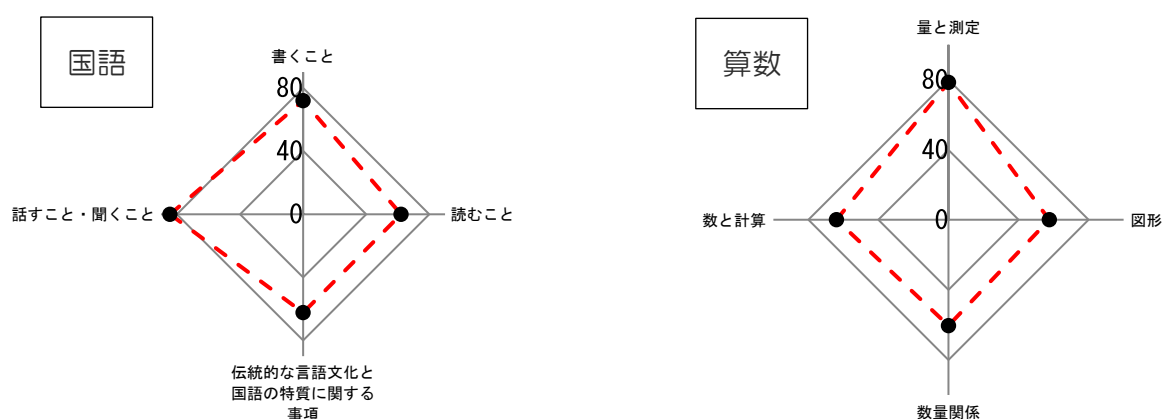


令和2年度全国学力・学習状況調査の結果について

帯広市立明和小学校

学力について

例年4月に実施されている全国学力・学習状況調査ですが、今年度は全国での調査は実施されませんでした。帯広市独自に調査問題を活用した調査を行いましたので、本校の様子をお知らせします。



※今年度は、全国・全道との比較は行うことはできません。

国語

- 国語では、どの領域も、概ねバランスよく力が身に付いていることがうかがえる。
- 条件に合わせて制限文字数内で書く問題では、2つの条件のうち、1つの条件しか満たせていない児童が多く、正答率が低かった。
- ひらがなを漢字に直す問題では、「ひじょうにおどろきました」の「非常」の「常」を正しく書けず、解答できない児童が多かった。

算数

- 算数では、どの領域も、概ねバランスよく力が身に付いていることがうかがえる。
- 円柱の側面に貼る紙の横の長さを示す適切な点を選ぶ問題では、「長さを求める」のではなく、「長さを示す点を選ぶ」問題として捉え、必要事項を図から読み取ることができない児童が多く、正答率が低かった。
- $0.75 + 0.9$ の問題では、 $75 + 9$ として考える児童が多く、ある数のいくつか分かを考え、求め方を説明することができない児童が多かった。

学習状況について

- （肯定的な回答が85%以上）
 - 「毎朝朝食を食べる」
 - 「ものごとを最後までやりとげてうれしかったことがある」
 - 「学校のきまりを守っている」
 - 「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」
 - 「人の役に立つ人間になりたい」
 - 「友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができる」
 - 「国語の勉強は大切だと思う」
 - 「算数で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」
- △（肯定的な回答が60%以下）
 - 「新聞を読んでいる」
 - 「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある」
 - 「家で計画を立てて勉強している」

そこで学校と家庭では・・・

学校では・・・

- ① **基礎・基本の確実な定着**
 - ・ 定着問題の時間を確保した授業づくり
 - ・ 家庭学習や朝学習での漢字や計算の反復学習の取組
 - ・ 効果的な習熟度別少人数指導の実践
 - ・ ICTの効果的な活用
 - ・ チャレンジテストの活用
- ② **組織としての授業改善**
 - ・ 授業改善推進教員と連携した質の高い授業の実践
 - ・ 1時間の授業の流れの確実な定着（課題とまとめ、伝え合う場面が明確な授業）
 - ・ 「見通しを持ち、わかる・できるを感じさせる授業づくり」を目指した校内研究の推進
 - ・ 学習の足跡がわかるノートづくりの取組
 - ・ 学力向上コーディネーターを軸とした各種調査結果の分析、改善プランへの反映
- ③ **学習規律や学習習慣の定着**
 - ・ 学習規律の徹底と話し合いの仕方の指導
 - ・ 家庭学習の手引きの活用
- ④ **自己有用感を育む取組の推進**
 - ・ 子ども同士の話し合い活動の充実
 - ・ 人を認め、人から認められる子どもの育成

家庭では・・・

- 「よくわかる！明和小学校」を活用してよりよい学習習慣、生活習慣の定着を
- ① **家庭学習や読書週間の育成・定着（家庭学習の手引きを活用）**
 - ・ 10分間×学年を目標に！
 - ・ 時間帯を決めて毎日継続を！
 - ② **よりよい生活習慣定着に向けて**
 - ・ 「早寝・早起き・朝ご飯」（生活リズムチェックシートの活用）
 - ・ テレビやゲームの時間を減らし、家庭学習・読書・だんらんの時間に